

瀬戸市国民健康保険データヘルス計画（第2期計画）

別冊

第6章 保健事業計画の評価

計画期間の2年間に振り返り、保健事業の評価を行います。瀬戸市においては、国保被保険者に対する事業を国保年金課で、市民全体への保健事業を健康課で担当しています。

市民(被保険者)の あるべき姿 (3つの目標)	保健事業 の5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成 できる、または得 たい成果等が得ら れる指標	目標値		
健康や社会保障制 度に関心を持つこ とができる	① ②	★広報事業	健康意識の向上	市民	<ul style="list-style-type: none"> がん、高血圧、糖尿病に関する広報記事(健診案内、コラム、健診結果からみえる傾向)を掲載 国保年金課窓口等にて健診等の周知案内配布 データヘルス計画の公表推進 	<ul style="list-style-type: none"> がん、高血圧、糖尿病に関する広報記事(健診案内、コラム、健診結果からみえる傾向)を掲載 国保年金課窓口等にて健診等の周知案内配布 かかりつけ薬局の推奨やお薬手帳の活用について掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○掲載回数 年3回以上 ○案内配布枚数 500枚以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康意識の向上 第2次いきいき瀬戸21計画にて (1)「生活習慣病予防のために健康的な生活習慣に改めたい」と回答する市民の増加 H24年度 50.7% (2)「過去1年間に健康診断(がん検診を含む)を受けた」と回答する市民の増加 H24年度 70.8% 	<ul style="list-style-type: none"> 【掲載回数】 H28年度:3回 H29年度:3回 【案内配布枚数】 H28年度:500枚以上 H29年度:500枚以上 【第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果】 (1)H29年度 52.6% (2)H29年度 77.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報に関連記事を掲載し、広く市民に周知できるように継続していく。
健康や社会保障制 度に関心を持つこ とができる	① ③	<ul style="list-style-type: none"> ★講演会・イベント ①医師講話(健康関連) ②医師講話(こころの健康) ③薬剤師講話 ④健康福祉フェア(健康まつり) ⑤減塩体感教室 	健康意識の向上	市民	<ul style="list-style-type: none"> ①慢性閉塞性肺疾患(COPD)ってなかに [医師講話] ②ストレスとの上手な付き合い方 [医師講話] ③お薬とのいい関係 [薬剤師講話] ④健康福祉フェア(健康まつり) 	<ul style="list-style-type: none"> ①CKD(慢性腎臓病)ってなに [医師講話] ②ストレスとの上手な付き合い方 [医師講話] ③お薬との上手な付き合い方[薬剤師講話] ④健康福祉フェア(健康まつり) ⑤減塩体感教室 	<ul style="list-style-type: none"> 【①～③】 ○参加人数 延182人 ○満足度 89%以上 【④】 ○入場者数 延11,546人 ○満足度 80%以上 【⑤】 ○参加人数 100人 ○教室参加後の減塩実施率 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康意識の向上 第2次いきいき瀬戸21計画にて (3)「がん検診を受診する市民の増加」 H23年度 胃 29.1%、大腸 41.4%、子宮 20.0%、乳 17.1%、肺 51.6%、前立腺 17.1% (4)「ストレスをおおいに感じる市民の減少」 H24年度 23.2% 	<ul style="list-style-type: none"> 【参加人数】 ①医師講話 延203人 H28 95人、H29 108人 ②こころ 延159人 H28 83人、H29 76人 ③薬 延76人 H28 35人、H29 41人 ④健康福祉フェア 延2,294人 H28 1,172人、H29 1,122人 ⑤減塩体感教室 H29 127人 【満足度】 ①医師講話 H28 96%、H29 96% ②こころ H28 97%、H29 90% ③薬 H28 75%、H29 76% ④健康福祉フェア H28 78%、H29 80% ⑤減塩体感教室 H29 96% 【第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果】 (3)H28年度 胃 25.3%、大腸 40.0%、子宮 18.6%、乳 16.5%、肺 50.8%、前立腺 16.2% (4)H29年度 21.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ○満足度評価については、事業ごとにスケールが異なっていたため、差が出る結果となった。次年度以降は、評価スケールを統一し、比較・評価できるようにする必要がある。 ○健康福祉フェアについては、参加者増加に向け広報の掲載を早目にし、市民に広く周知をする。 ○減塩対策については、今後も減塩プロジェクトにて普及活動を実施し、健康づくりに役立てる。

市民(被保険者)の あるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	①	めたぼうし体操の普及活動	子どもから大人まで気軽に楽しくからだを動かせる体操を啓発し、健康づくりに役立てる。	市民	保健推進員活動、健康まつり、保育園、学校等で普及	保健推進員活動、健康まつり、保育園、学校等で普及	○参加人数 延 1,152 人	○運動習慣の向上 第2次いきいき瀬戸21計画にて (5)「仕事以外で日頃意識的に運動している市民の増加」 H24年度47.7%	【参加人数】 H28年度：1,279人 (実施回数5回) H29年度：580人 (実施回数4回) 延 1,859人 【第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果】 (5)H29年度 47.6%	○今後も継続して各種保健事業で普及し、健康づくりに役立てる。
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	①	保健推進員・健康づくり食生活改善推進員による普及活動	健康意識の向上	市民	・保健推進員活動 スローガンを掲げ、20地区にて活動 ・健康づくり食生活改善推進員活動 スローガンを掲げ活動	・保健推進員活動 スローガンを掲げ、20地区にて活動展開 ・健康づくり食生活改善推進員活動 スローガンを掲げ、活動展開	○参加人数 保健推進員活動：延 5,700人 健康づくり食生活改善推進員活動：延 5,100人 ○実施内容	○運動習慣の向上 第2次いきいき瀬戸21計画にて (6)「1週間に2回以上、1回30分の運動習慣がある市民の増加」 H24年度41.5% ○食習慣の見直し 第2次いきいき瀬戸21計画にて (7)「自分にとって適切な食事内容・量を知っている市民の増加」 H24年度58.3%	【保健推進員活動参加者】 H28年度：5,294人 H29年度：4,443人 【健康づくり食生活改善推進活動参加者】 H28年度：4,955人 H29年度：5,029人 (H30年2月現在) 【第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果】 (6)H29年度 40.2% (7)H29年度 60.8%	○活動参加者の満足度のアンケートを実施する。
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	③	★健康教育(母子)身体計測、血液検査、医師講話、個別指導、栄養・運動指導	児童の現在及び将来にわたる生活習慣病予防としての日常生活習慣の形成を目的とする。	生活習慣病予防を必要とする小学校1~6年生児童と(その保護者)家族	児童生活習慣病予防教室(キッズ健康教室)	児童生活習慣病予防教室(キッズ健康教室)	○参加人数 児童：延 30人	○生活習慣の見直し 第2次いきいき瀬戸21計画にて (8)「1日3回食事をとる児童の増加」 H24年度95.2% (9)「毎日運動している小学生の増加」 H24年度51.6% (10)肥満傾向にある子どもの割合の減少」 H24年度 男子8.2% 女子6.2%	【参加人数】 児童：41人(82%) 保護者：38人(84%) 参加者へのアンケートによる満足度(H29~) (子ども：楽しかった、勉強になった、美味しかったなど) (保護者：内容に対してとても良い、よい) 【第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果】 (8)H29年度 95.8% (9)H29年度 46.4% (10)H29年度 男子 8.0% 女子 7.1%	○今後も市内小学校全校にチラシを配布し、より多くの市民の参加を促す。正しい生活習慣についての知識を習得させ、実践につなげることで生活習慣病の予防を図る。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	③	★健康教育(成人) ①健康講話・運動実技(全8回) ②健康講話・運動実技(全8回) ③健康講話・運動実技(全6回) ④健康講話・調理実習(全1回) ⑤健康講話・調理実習(全2回) ⑥依頼時対応	・メタボリックシンドロームの予防、改善 ・減塩の推進による生活習慣病の予防、改善	①・② 40~69歳の市民 ③ 20~49歳の市民 ④~⑥ 市民	① 体内年齢若返り教室(全8回) ② みるみるスリム教室(全8回) ③ 女性のためのエクササイズ教室(全6回) ④ 野菜いっぱいメタボ改善クッキング(全1回) ⑤ おいしい減塩クッキング(全2回) ⑥ 依頼時対応	① 体内年齢若返り教室(全8回) ② 筋力アップ教室(全10回) ③ 女性のためのリフレッシュヨガ教室(全6回) ④ バランス食でメタボ予防クッキング(全1回) ⑤ めざそう減塩クッキング(全2回) ⑥ 依頼時対応	[[①、②]] ○参加人数 延576人 ○体重減少者 65% ○体脂肪率減少 54% [[③]] ○参加人数 延174人 ○主観的健康観の変化 [[④、⑤]] ○参加人数 延100人 [[⑥]] ○参加人数 延350人	○メタボリックシンドロームの予防、改善 第2次いきいき瀬戸21計画にて(11)「BMI25以上の肥満の市民の減少」 H24年度 18.1%	[[①参加人数]] H28 385人、H29 390人 延775人 [[①体重減少者]] H28 65.2%、H29 53.1% [[①体脂肪率減少]] H28 54.3%、H29 75.5% [[②参加人数]] H28 267人 [[②体重減少者]] H28 75.0% [[②体脂肪率減少]] H28 61.8% [[③参加人数]] H28 157人、H29 187人 延344人 [[③主観的健康観の変化]] H28 初回61.6点 最終回68.3点(+6.7点) H29 初回64.4点 最終回69.2点(+4.8点) [[④参加人数]] H28 36人、H29 39人 延75人 [[⑤参加人数]] H28 75人、H29 49人 延124人 [[⑥参加人数]] H28 713人 H29 385人 (H29.12月現在) [[第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果]] (11)H29年度 16.6%	○各教室を継続して実施し、市民の健康づくりにつなげる。教室の形態は、年度ごとに見直しを行い、疾病予防に努める。 また、実施する教室により目的や内容が異なるため、評価しやすい指標を検討する。
自分の健康状態を知ることができる	③	健康相談	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する。	市民(被保険者)	①健康よろず相談、スワスポ(禁煙相談) ②乳幼児健康相談 ③電話相談：随時 ④窓口相談：随時	①健康よろず相談、スワスポ(禁煙相談) ②乳幼児健康相談 ③電話相談：随時 ④窓口相談：随時	①被相談人数 1,042人 ②被相談人数 延780人 ○相談内容 ○対象属性	○セルフコントロール 第2次いきいき瀬戸21計画にて(12)「自分の適正体重を認識し、体重コントロールしている市民の増加」 H24年度 58.3%	[[①被相談人数]] H28年度：1,142人 H29年度：853人 (H29.12月末現在) 延1,995人 [[②被相談人数]] H28年度：772人 H29年度：589人 (H29.12月末現在) 延1,361人 ③④随時対応 [[第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果]] (12)H29年度 54.2%	○相談内容に応じ、必要な指導・助言を実施する。 また、健康相談事業を周知し、市民がいつでも相談を利用できるように努める。

市民(被保険者)の あるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
自分の健康状態を知ることができる	③	★学童期生活習慣病対策健診事業 身体計測、血液検査	疾病の予防と早期発見	市内モデル校の5年生 (複式学級の場合は、5・6年生)	学童期生活習慣病対策健診事業 市内モデル校に身体計測、血液検査実施	学童期生活習慣病対策健診事業 市内モデル校に身体計測、血液検査実施	○実施校数 H28 14校 H29 20校	○有所見者率の減少	【実施校数】 H28 14校、H29 17校 【有所見者率】 H29 21.5% (H30.1月現在)	○モデル校での健診実績を積み疾病を早期発見するとともに、疾病の予防へのアプローチを進めていく。
自分の健康状態を知ることができる	②	特定健康診査	生活習慣病早期発見、健康意識の向上	40歳以上の被保険者	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	○受診率 (45.6% : H26値) H28 58% H29 60% ○新規加入者に随時受診券を送付。(約600通) ○新規加入送付者の受診率 (30%) ○他健診結果把握数(依頼対象者の6割以上)	○メタボ該当者率の減少 (18.6% : H26値) ○健診結果有所見(血糖・血圧・脂質)の重複割合の減少 (6.1% : H26値)	【受診率】 ○H28の受診率は、47.1%で県内でも高い受診率ではあるが、目標値には達していない。 ○新規加入送付者の受診率は、H28 22.7%であった。 【他健診結果把握】 ○他健診結果を依頼した対象者の6割上の把握ができた。(H28 68.5%、H29 80.6%) 【メタボ該当者率】 ○メタボ該当者率は年々増加している。(H27 18.7%、H28 19.0%) 【健診結果有所見の重複割合】 ○健診結果有所見の重複割合は年々増加している。(H27 6.4%、H28 6.5%)	○受診勧奨、健診結果等の周知を推進する。 ○新規加入者への受診券送付を継続する。 ○ハイリスク者への予防改善事業を実施する。
自分の健康状態を知ることができる	② ③	★瀬戸市国保生活習慣病予防健康診査 (短期人間ドック)	30歳代の被保険者の健康意識向上と生活習慣病の早期発見	30歳代の被保険者	6月から10月 (一部を除く) 瀬戸旭医師会・瀬戸健康管理センター委託	6月から10月 (一部を除く) 瀬戸旭医師会・瀬戸健康管理センター委託	○基本健康診査受診率(10.6% : H26値) H28、H29 前年度+1%	○健診結果有所見者率の減少 (34.0% : H26値)	【受診率】 ○基本健康診査受診率は、減少傾向で推移している。(H28 11.2%、H29 10.9%) 【健診結果有所見率】 ○健診結果有所見者率は、横ばいの状況である。(H28 31.7%、H29 33.1%)	○受診勧奨の強化を図る。 ○有所見者への予防改善に向けた啓発資料の送付を継続する。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
自分の健康状態を知ることができる	②	★特定健康診査受診率向上対策(勸奨事業)	特定健診受診率向上、未受診理由の把握、健診結果提供依頼	①受診率の低い40~50歳代 ②健診初期・中間期に受診結果未着者 ③過去2年間の他健診受診結果提供者	・対象に合わせた内容の勸奨ハガキの送付 ① 2,000通 ② 22,000通 ・他健診受診者へ結果提供依頼通知の送付 ③ 100通	対象に合わせた内容の勸奨ハガキの送付 ① 2,000通 ② 22,000通 ・他健診受診者へ結果提供依頼通知の送付 ③ 100通	○40~50歳代の受診率(40代23.4%、50代32.7%:H26値) H28 前年+1% H29 前年+2% ○特定健診受診率 H28 58% H29 60%	○健診結果有所見割合の減少 [40代(H26値)] TG 24.2% HDL-C 8.2% LDL-C 48.2% HbA1c 30.1% 収縮期血圧 26.2% 拡張期血圧 17.2% [50代(H26値)] TG 26.9% HDL-C 5.9% LDL-C 59.1% HbA1c 44.7% 収縮期血圧 38.2% 拡張期血圧 22.1%	【受診率】 ○40代、50代の受診率は、H28では40代24.6%、50代33.7%であり、やや増加している。 【健診結果有所見割合】 ○健診結果有所見割合は、減少が多くなっている。 40代(H28) TG 23.5%(-0.7%) HDL-C 7.8%(-0.4%) LDL-C 44.1%(-4.1%) HbA1c 27.7%(-2.4%) 収縮期血圧 25.4%(-0.8%) 拡張期血圧 16.7%(-0.5%) 50代(H28) TG 29.9%(+3%) HDL-C 7.0%(+1.1%) LDL-C 56.2%(-2.9%) HbA1c 40.3%(-4.4%) 収縮期血圧 35.4%(-2.8%) 拡張期血圧 22.0%(-0.1%)	○受診率の低い40~50代への受診勸奨を継続する。
自分の健康状態を知ることができる	②	生活習慣病予防健康診査(短期人間ドック)受診率向上対策	30歳代の被保険者の健康意識向上と生活習慣病の早期発見	30歳代の被保険者	・医師会員対象の健診説明会において受診率向上について周知、依頼	・健診中間期において受診勸奨ハガキの送付	○新規受診者割合の増加(48.5%:H26値) ○基本健康診査受診率(10.6%:H26値) 前年度+1% ○受診勸奨ハガキの送付(30歳、35歳)	○健診結果有所見者率の減少(34.0%:H26値)	【新規受診者割合】 ○被保険者数の減少により、対象者数が大幅に減少している。新規受診者割合は、H29では、44.5%と減少している。 【受診率】 ○基本健康診査受診率は、減少傾向で推移している。(H28 11.2%、H29 10.9%) 【健診結果有所見者率】 ○健診結果有所見者率は、横ばいの状況である。(H28 31.7%、H29 33.1%)	○受診勸奨ハガキを送付(年代を考慮)する。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
自分の健康状態を知ることができる	②	歯科事業 ①歯科節目健康診査 ②歯周病予防健康診査 ③二十歳の歯科健口診査	歯科疾患を早期発見し、適切な治療と予防により歯の喪失を防ぐ。	①30,35,40,45,50,55,60,65,70歳の市民 ②20歳以上の市民 ③20歳になる市民	①6月から12月 瀬戸歯科医師会委託 ②2歳歯科健診と同時実施(24回/年) ③受診券発行時から2月末まで 瀬戸歯科医師会委託	①6月から12月 瀬戸歯科医師会委託 ②2歳歯科健診と同時実施(24回/年) ③受診券発行時から2月末まで 瀬戸歯科医師会委託	○受診者数 ①750人 ②100人 ③100人	○う蝕者の減少(44.1% : H26値)	①受診者数 H28 384人 H29 297人(H29.12末) ②受診者数 H28 18人 H29 17人 ③受診者数 H28 89人 う蝕者割合 H29 34.6%	○広報・通知を継続して実施する。
自分の健康状態を知ることができる	② ③	★女性の健康診査	疾病の早期発見、適切な治療につなげる。	職域等で健康診査を受診する機会のない30歳代の女性、かつ瀬戸市国民健康保険加入者でない者	瀬戸健康管理センター委託	瀬戸健康管理センター委託	○受診者数(278人 : H26値) ○受診率 10%以上	○健診結果有所見者率の減少(59.0% : H26値)	受診者数 H28 311人 H29 196人 健診結果有所見者率 H29 47.4%	○広報・通知を継続して実施する。
自分の健康状態を知ることができる	③	訪問指導	家庭訪問により、生活習慣病予防に関する保健指導を行い、健康の保持増進を図る。	訪問指導が必要と思われる市民(特定保健指導未利用者、個別指導者、被災者、じん肺検診未受診者等)	訪問指導が必要と思われる市民(特定保健指導未利用者、個別指導者、被災者、じん肺検診未受診者等)への訪問実施	訪問指導が必要と思われる市民(特定保健指導未利用者、個別指導者、被災者、じん肺検診未受診者等)への訪問実施	○訪問件数 398件	○セルフコントロール 第2次いきいき瀬戸21計画にて(12)「自分の適正体重を認識し、体重コントロールしている市民の増加」 H24年度58.3%	訪問件数 H28 102件 H29 84件 (H29.12末現在) 第2次いきいき瀬戸21計画 中間評価結果 (12)H29年度 54.2%	○今後も継続実施する。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策	
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム			
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値			
自分の健康状態を知ることができる	2	★ ◎ がん検診	がん検診受診率向上対策	がんを早期発見し、適切な治療によりがんの死亡を減少させる。	市民(該当市民)	<ul style="list-style-type: none"> がんに関する広報記事を掲載 検診アンケートの実施 精密検査未受診者への受診勧奨通知の送付 	<ul style="list-style-type: none"> がんに関する広報記事を掲載 検診アンケートの実施 精密検査未受診者への受診勧奨通知の送付 	<ul style="list-style-type: none"> 〇広報掲載回数 各年3回 〇内容 〇送付者数 〇受診者数 〇受診率 各種がん検診受診率向上 		<ul style="list-style-type: none"> 【啓発】 OH28及び29年度は広報以外に折込チラシを全戸配付。 【受診率】 OH28年度各がん検診参照 	〇勸奨ハガキ送付者の厳選、送付内容を見直す。
			がん検診精度管理		がん検診事業評価検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> がん検診事業評価検討委員会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診事業評価検討委員会を開催 	〇会議実施 年1回開催		<ul style="list-style-type: none"> 【会議実施】 OH29.3.11 開催(H28年度分) OH30.2.24 開催(H29年度分) 	〇今後も継続実施する。
			肺がん検診		40歳以上の市民	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	<ul style="list-style-type: none"> 〇受診率 52%以上 〇精検受診率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 〇がん死亡率の減少 標準化死亡比 (H21-25値) 男:106.5 女:101.6 	<ul style="list-style-type: none"> 【受診率】 H28(個別+集団) 50.9% 【精検受診率】 H28 86.6% (D) 89.7% (E) 【標準化死亡比】(H23-27) 男:109.7 女:101.6 	〇広報、個別通知、再勧奨を継続して実施する。
			胃がん検診		40歳以上の市民	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	<ul style="list-style-type: none"> 〇受診率 40%以上 〇精検受診率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 〇がん死亡率の減少 標準化死亡比 (H21-25値) 男:92.7 女:94.3 	<ul style="list-style-type: none"> 【受診率】 H28 25.3% 【精検受診率】 H28 95.6% 【標準化死亡比】(H23-27) 男:92.7 女:94.3 	〇広報、個別通知、再勧奨を継続して実施する。
			大腸がん検診		40歳以上の市民	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	<ul style="list-style-type: none"> 〇受診率 50%以上 〇精検受診率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 〇がん死亡率の減少 標準化死亡比 (H21-25値) 男:109.9 女:101.4 	<ul style="list-style-type: none"> 【受診率】 H28 40.0% 【精検受診率】 H28 80.8% 【標準化死亡比】(H23-27) 男:97.8 女:102.4 	〇広報、個別通知、再勧奨を継続して実施する。
			子宮頸がん検診		20歳以上の女性 (2年に1回) ただし 40~59歳(毎年)	6月から10月 瀬戸旭医師会委託 (ただしクーポン検診については8月、11月も実施)	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	<ul style="list-style-type: none"> 〇受診率 50%以上 〇精検受診率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 〇がん死亡率の減少 標準化死亡比 (H21-25値) 女:104.2 	<ul style="list-style-type: none"> 【受診率】 H28 18.6% 【精検受診率】 H28 89.7% 【標準化死亡比】(H23-27) 女:129.8 	〇広報、個別通知、再勧奨を継続して実施する。
			乳がん検診 ◎		40歳以上の女性 (2年に1回)	<ul style="list-style-type: none"> 6月から10月 瀬戸旭医師会委託 (ただしクーポン検診については8月、11月も実施) マンモグラフィとエコーの併用実施の検討 	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	<ul style="list-style-type: none"> 〇受診率 50%以上 〇精検受診率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 〇がん死亡率の減少 標準化死亡比 (H21-25値) 女:94.3 	<ul style="list-style-type: none"> 【受診率】 H28 16.5% 【精検受診率】 H28 96.7% 【標準化死亡比】(H23-27) 	〇広報、個別通知、再勧奨を継続して実施する。
			前立腺がん検診		50歳以上の男性 (3年に1回)	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	6月から10月 瀬戸旭医師会委託	<ul style="list-style-type: none"> 〇受診率 50%以上 〇精検受診率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 〇がん死亡率の減少 標準化死亡比 (H21-25値) 男:86.6 	<ul style="list-style-type: none"> 【受診率】 H28 16.2% 【精検受診率】 H28 86.2% 【標準化死亡比】(H23-27) 男:87.0 	〇広報、個別通知、再勧奨を継続して実施する。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	4	★特定保健指導動機づけ支援	対象者が生活習慣を振り返り行動目標を設定及び実践し、支援終了後もその生活が継続できること	基準該当者	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸旭医師会委託 ・結果未着者について医療機関へ勧奨 ・説明会等で依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸旭医師会委託 ・結果未着者について医療機関へ勧奨 ・説明会等で依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用率 H28 61% H29 63% ○終了率 H28、H29 前年度+5% 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導該当者の減少率 20.1% (H26値) ○特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 21.9% (H26値) 	<p>[利用率]</p> <p>OH28 は増加したが、目標値には達していない。(H26 41.7%、H27 34.5%、H28 46.0%)</p> <p>[終了率]</p> <p>○年々減少している。(H26 31.8%、H27 28.1%、H28 22.7%)</p> <p>[特定保健指導該当者の減少率]</p> <p>OH27 に増加し、H28 に減少している。(H26 20.1%、H27 21.3%、H28 19.5%)</p> <p>[特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率]</p> <p>OH27 に増加し、H28 に減少している。(H26 21.9%、H27 25.9%、H28 21.7%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○健診説明会等で報告、依頼する。 ○結果未着者について医療機関へ勧奨を行う。
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	4	★特定保健指導積極的支援	対象者が生活習慣を振り返り行動目標を設定及び実践し、支援終了後もその生活が継続できること	基準該当者	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課と委託業者により実施 9 回の教室で 500P 以上のプログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課と委託業者により実施 9 回の教室で 500P 以上のプログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用率 H28 48% H29 50% ○終了率 H28、H29 前年度+5% ○利用率、終了率 ○翌年以降度の健診結果の変化 ○生活、意欲等の質的变化 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導該当者の減少率 20.1% (H26値) ○特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 21.9% (H26値) 	<p>[利用率]</p> <p>○横ばいの状況である。(H26 12.0%、H27 14.9%、H28 13.6%)</p> <p>[終了率]</p> <p>○横ばいの状況である。(H26 10.6%、H27 13.8%、H28 11.1%)</p> <p>[特定保健指導該当者の減少率]</p> <p>OH27 に増加し、H28 に減少している。(H26 20.1%、H27 21.3%、H28 19.5%)</p> <p>[特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率]</p> <p>OH27 に増加し、H28 に減少している。(H26 21.9%、H27 25.9%、H28 21.7%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○参加勧奨訪問を実施する。 ○教室内容に新規内容を追加する。
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	4	★減塩プロジェクト 減塩のための栄養指導教室	対象者が生活習慣を振り返り行動目標を設定及び実践し、支援終了後もその生活が継続できること	基準該当者 収縮期血圧 130mmHg 以上かつ医師の判断で「高血圧」というコメントが存在する方	<ul style="list-style-type: none"> ・減塩個別教室(栄養指導)全 6 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・減塩個別教室(栄養指導)全 6 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室参加者終了率 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導実施率 100% 	<p>[教室参加者終了率]</p> <p>H28 100% H29 86%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導及び電話勧奨にて実施する。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの 柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	4	★☆☆ 重症化予防事業 (早期医療受診 勧奨事業)		特定健診の結果、血圧・血糖・脂質について医療受診勧奨値を超えているが未受診の者	・医師会へ実施説明 ・早期医療勧奨通知の送付	・早期医療勧奨通知の送付 ・前年度送付者の受診結果確認	○年度末までに通知を送付する。	○前年度の通知者うち、50%以上の受診が確認できる	【通知者受診状況】 ○H28年度の通知者の受診状況は、16.7%であった。	○早期医療勧奨通知を継続する。
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	4	★☆☆ 重症化予防事業 (早期介入保健 指導)		・生活習慣病予防健康診査受診者のうち基本健康診査で要観察以上の者 ・特定健康診査及び生活習慣病予防健康診査の結果で保健指導該当値に血糖と血圧と脂質のうち2項目以上該当かつ運動習慣のない者	・保健指導パンフレットの送付 ・健康教室(国保連合会健康体操普及事業に応募)の開催年12回	・保健指導パンフレットの送付 ・健康教室(国保連合会健康体操普及事業に応募)の開催年12回	○生活習慣病予防健康診査受診者のうち基本健康診査で要観察以上の者に指導パンフレット送付。 ○教室参加率 H28 15%以上 H29 20%以上	○教室参加者の翌年度の健診結果維持・改善率80%(血糖、血圧、脂質) ○翌年度の生活習慣等の質的变化率80%	【教室参加率】 H28 17.0% H29 20.6% 【教室参加者の翌年度の健診結果維持・改善率】 ○血糖 88.2%、血圧 60.0%、脂質 70.6%であり、血糖については目標を達成できた。 【教室参加による変化】 ○アンケート結果より、教室参加による良い体調変化があった(88.2%)。	○早期介入保健指導事業教室を継続する。
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	5	ジェネリック医薬品知識普及、 差額通知	年々増加する保険給付費対策として先発医薬品に比べ低廉な価格ながら同等な効き目が期待できるジェネリック医薬品の啓発を行い、医療費の適正化を図る	被保険者	・保険証更新・交付時にジェネリック医薬品希望シール配布 ・差額通知年2回送付 ・内容分析	・保険証更新・交付時にジェネリック医薬品希望シール配布 ・差額通知年2回送付	○シール発行数 ○切り替え人数割合 ○効果額 ○軽減効果分析	○差額通知の切り替え人数割合の20%以上の増加 ○効果額50万円以上	【後発医薬品差額通知後の効果測定(H28年度)】 切り替え人数 78人増加 利用割合 9.9%増加 医療費削減 946,170円削減(軽減効果額累積) 【後発医薬品差額通知後の効果測定(H29年度)】 切り替え人数 228人増加 利用割合 24.6%増加 医療費削減 3,221,980円削減(軽減効果額累積)	○保険証更新・交付時にジェネリック医薬品希望シール配布する。 ○差額通知を年2回送付する。
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	5	医療費通知	保険料を有効に使うためひとりひとりが適正な保険診療を受けるためのものとして、総医療費や受診内容を被保険者に正しく知らせる	被保険者	・医療費通知を年6回奇数月に発送	・医療費通知を年6回奇数月に発送	○発送件数 ○問い合わせ件数 ○年6回通知	○医療受診、医療費状況の把握	【発送件数(H28年度)】 87,405通(年6回通知) 【発送件数(H29年度)】 55,903通(年6回通知) (12月末現在)	○年6回通知する。
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	5	重複多受診者保健指導		重複多受診者のうち、同薬剤重複処方者	・重複多受診者への通知および保健指導	・重複多受診者への通知および保健指導	○保健指導実施率 ○指導後の診療状況の変化	○保健指導実施率100%	【保健指導実施率】 H27 100% H28 実績なし	○重複多受診者への通知および保健指導の継続

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	2年間の実施内容		評価の視点		評価の結果	今後の対策
					平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
							目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値		
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	⑤	★☆☆ 健康保険制度・適正受診の周知		市職員・市民に対し、国保窓口・あらゆる機会において、制度の周知をはかる	<ul style="list-style-type: none"> ・国保窓口等においてパンフレット・啓発グッズの配布 ・イベント、健康教育時にミニ講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保窓口等においてパンフレット・啓発グッズの配布 ・イベント、健康教育時にミニ講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○パンフレット、グッズ配布数 1500部以上 ○問い合わせ件数 6件以上 ○理解度調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○適正受診の増加 	<p>【広報折込】 H28、H29 瀬戸市国保の手引き広報折込 53,200部</p> <p>【柔道整復施術療養費支給申請者のうち選定者（多部位負傷、長期継続、頻回傾向）に案内】 H28、H29 リーフレット送付 25件</p> <p>【柔道整復施術所（整骨院、接骨院）に案内】 H28、H29、リーフレット配布 25件</p> <p>【はり・きゅう・あんま・マッサージの療養費支給申請者に案内】 H28、リーフレット配布 12件</p> <p>【講話】 ○H28、H29 瀬戸市保健推進員協議会養成講座にて講話</p> <p>○H28 公立陶生病院、瀬戸旭医師会市民フォーラムにて講話</p> <p>【パンフレット等の配布】 窓口リーフレット設置 300枚以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○瀬戸市国保の手引きを配布する。 ○柔道整復施術療養費支給申請者及び施術者への案内、リーフレット配布を行う。 ○はり・きゅう・あんま・マッサージの療養費支給申請者及び施術所に案内、リーフレットを配布する。 ○保健推進員協議会養成講座等にて講話する。 ○窓口リーフレットを設置する。

第8章 保健事業計画

第7章までの課題や対策の方向性を受けて、今後6か年に行う保健事業計画を策定します。重点事業は★印、平成30年度から新たに実施する事業は☆印で表記します。保健事業の5つの柱は、第7章と対応しています。

市民(被保険者)の あるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点	
						アウトプット	アウトカム
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	① ②	★ 広報事業	健康意識の向上	市民	<ul style="list-style-type: none"> がん、高血圧、糖尿病等に関する広報記事(健診案内、健康コラム、健診結果からみえる傾向等)を掲載 国保年金課窓口等にて健診等の周知案内配布 かかりつけ薬局の推奨やお薬手帳の活用について掲載 	○掲載回数(年3回以上) ○掲載内容(健康づくりや生活習慣病予防に関連した内容) ○案内配布枚数 500枚以上	○健康意識の向上 第2次いきいき瀬戸21計画 (1)「生活習慣病予防のために健康的な生活習慣に改めたい」と回答する市民の増加 H29年度中間評価 52.6% ↓ 現状値より増加(H34年度最終評価) (2)「過去1年間に健康診断(がん検診を含む)を受けた」と回答する市民の増加 H29年度中間評価 77.2% ↓ 現状値より増加(H34年度最終評価) (3)メタボリックシンドローム認知度の増加 H29年度中間評価 50.2% ↓ H34年度最終評価 100% (4)ロコモティブシンドローム、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度の増加 H29年度中間評価 70.8% ↓ H34年度最終評価 80%
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	① ③	★ 講演会・イベント ①医師講話(健康関連) ②医師講話(こころの健康) ③薬剤師講話 ④健康福祉フェア(健康まつり)	健康意識の向上	市民	①医師講話(健康関連) ②医師講話(こころの健康) ③薬剤師講話 ④健康福祉フェア(健康まつり)	[①~③] ○参加率(参加者数/定員)100% [④] ○参加率(当該年度/前年度)100%以上 ○参加人数 延11,546人	○健康意識の向上 第2次いきいき瀬戸21計画 (4)「がん検診を受診する市民の増加」 H29年度中間評価 胃25.3%、大腸40.0%、子宮18.6%、乳16.5%、肺50.8%、前立腺16.2% ↓ 平成34年度最終評価 胃40%、大腸50%、子宮50%、乳50%、肺52%、前立腺50%以上 (5)「ストレスをおおいに感じる市民の減少」 H29年度中間評価 21.0% ↓ H34年度最終評価 20%以下 ○満足度<参加者アンケート> 89%以上
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	①	めたぼうし体操の普及活動	子どもから大人まで気軽に楽しくからだを動かせる体操を啓発し、健康づくりに役立てる。	市民	保健推進員活動、健康まつり、保育園、学校等で普及	○めたぼうし体操実施事業:4つ以上 (H29年度実施事業:健康福祉フェア、健康教育、特定保健指導、保健推進員・健康づくり食生活改善推進員事業)	○運動習慣の向上 第2次いきいき瀬戸21計画 (5)「仕事以外で日ごろ意識的に運動している市民の増加」 H29年度中間評価 47.6% ↓ H34年度最終評価 50%以上

※平成35年度については、新規いきいき瀬戸21計画に合わせた目標値とする。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点	
						アウトプット	アウトカム
						目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	①	★☆せと健康マイレージ事業	市民自らが主体的に楽しみながら気軽に健康づくりに取り組むことができるよう応援する。	15歳以上で市内在住、在勤、在学の者	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに取り組むことでポイントをため、一定以上のポイント獲得者には愛知県の発行する「愛知健康づくり応援カード(まいか)」を交付 まいか交付者を応募者とし年度末に記念品の抽選を実施。 	○参加人数	(1)「生活習慣病予防のために健康的な生活習慣に改めたい」と回答する市民の増加 H29年度中間評価 52.6% ↓ 現状値より増加(H34年度最終評価)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	①	保健推進員・健康づくり食生活改善推進員による普及活動	健康意識の向上	市民	<ul style="list-style-type: none"> 保健推進員活動 スローガンを掲げ、20地区にて活動展開 健康づくり食生活改善推進員活動 スローガンを掲げ、健康教室(年間7回実施、健康まつり)にて活動展開 	○参加人数 保健推進員活動：延5,700人 ○実施内容 ○健康づくり食生活改善推進員参加率(当該年度/定員)100%	○運動習慣の向上 第2次いきいき瀬戸21計画 (6)「1週間に2回以上、1回30分の運動習慣がある市民の増加」 H29年度中間評価 40.2% ↓ H34 最終評価 45%以上 (7)「自分にとって適切な食事内容・量を知っている市民の増加」 H29年度中間評価 60.8% ↓ H34 年度最終評価 62%以上 ○参加者のアンケート結果による満足度、意識変化 →前年度の結果を上回る結果(毎年評価)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	③	★健康教育(母子)身体計測、血液検査、医師講話、個別指導、栄養・運動指導	児童の現在及び将来にわたる生活習慣病予防としての日常生活習慣の形成を目的とする。	肥満傾向で生活習慣病予防を必要とする小学校1～6年生児童と(その保護者)家族	児童生活習慣病予防教室(キッズ健康教室) ※事業名、内容の変更あり	○参加人数 児童：延223人 児童：41人(82%) 保護者：38人(84%) 増加傾向へ	○参加者へのアンケートによる満足度、意識変化 (子ども：楽しかった、勉強になった、美味しかったなど) (保護者：内容に対してとても良い、よい) →前年度の結果を上回る結果(毎年評価) ○疾病発症・重症化予防 第2次いきいき瀬戸21計画 (8)「1日3回食事をとる児童の増加」 H29年度中間評価 95.8% ↓ H34 年度最終評価 96%以上 (9)「毎日運動している小学生の増加」 H29年度中間評価 46.4% ↓ H34 最終評価 54%以上 (10)「肥満傾向にある子どもの割合の減少」 H29年度中間評価 男子8.0%女子7.1% ↓ H34 年度最終評価 減少傾向へ
自分の健康状態を知ることができる	③	健康相談	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する。	市民(被保険者)	①健康よろず相談、スワサボ(禁煙相談) ②乳幼児健康相談 ③電話相談：随時 ④窓口相談：随時	○被相談人数	○セルフコントロール 第2次いきいき瀬戸21計画 (11)「自分の適正体重を認識し、体重コントロールしている」と回答する市民の増加 H29年度中間評価 39.3% ↓ 中間評価を上回る結果(H34年度最終評価) (12)「悩みを相談できる機関を知っている」市民の増加 H29年度中間評価 39.3% ↓ H34 年度最終評価 増加傾向へ

市民(被保険者)の あるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点	
						アウトプット	アウトカム
						目的・目標が達成できる、または得たい成果 等が得られる指標	目標値
疾病発症・重症化 予防のための行動 ができる	③	★ 健康教育(成人) 1. 年齢別習慣別 運動教室 ①運動習慣づくり のための運動実 技・健康講話 (全8回) ②運動習慣継続の ための運動実 技・健康講話 (全10回) ③若年世代のため の運動実技・健 康講話(全6回)	①② 運動に関する具体的 な方法を学び、対象者 の生活に取り入れ、健 康な生活を送ること ができる。 ③運動によるからだ とこころの健康づく りを目的とする。	①40～69歳の市民 ②40～69歳の市民 ③20～49歳の市民	※目的、内容、回数の変更あり ① 健康講話・運動実技(全8回) ② 健康講話・運動実技(全10回) ③ 健康講話・運動実技(全6回)	[①②] ○教室参加意欲100% (参加者数+欠席連絡数)/定員 [③] ○教室参加意欲100% (参加者数+欠席連絡数)/定員	[①②] ○体組成測定による筋肉量・基礎代謝の増 加や体脂肪率の減少 →前年度の結果を改善する結果(毎年評価) [③] ○参加者アンケートによる教室初回と最終 回の主観的健康観の変化 →前年度の結果を上回る結果(毎年評価) [①②③] ○参加者アンケートによる満足度、意識変 化 →前年度の結果を上回る結果(毎年評価) ○メタボリックシンドロームの予防改善 第2次いきいき瀬戸21計画 (13)「1日平均30分以上歩く市民の増加」 H29年度中間評価 50.3% ↓ H34最終評価 53%以上
		2. 食事・栄養関 連教室 ①メタボリックシ ンドローム予防 のための健康講 話・調理実習 (全1回) ②減塩のための健 康講話・調理実 習(全2回)	①メタボリックシンド ローム予防のための食事・ 栄養について学び、日常 生活に取り入れる。 ②減塩の方法を具体的に 学び、生活習慣病の予防 につなげる。	①②市民	① 健康講話・調理実習 (全1回) ②健康講話・調理実習 (全2回)	[①②] 教室参加意欲100% (参加者数+欠席連絡数)/定員	[①②] 参加者アンケートによる満足度、意識変 化 →前年度の結果を上回る結果(毎年評価) ○メタボリックシンドロームの予防改善 第2次いきいき瀬戸21計画 (14)「BMI25以上の肥満の市民の減少」 H29年度中間評価 16.6% ↓ H34最終評価 13%以下
		3. 外部依頼によ る健康教室	依頼先が希望する健康知 識の普及を目的とする。	市民	依頼時対応	○利用者数	○メタボリックシンドロームの予防改善 第2次いきいき瀬戸21計画 (3)「メタボリックシンドローム認知度の増 加」 H29年度中間評価 50.2% ↓ H34最終評価 100% ○ロコモティブシンドローム認知度増加< 健康まつりアンケート> →前年度の結果を上回る結果(毎年評価)

市民(被保険者)の あるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点	
						アウトプット	アウトカム
自分の健康状態を知ることができる	③	★ 学童期生活習慣病対策健診事業 身体計測、血液検査	疾病の予防と早期発見	市内モデル校の5年生 (複式学級の場合は、5・6年生)	学童期生活習慣病対策健診事業 市内モデル校に身体計測、血液検査実施	○実施校数 ○採血検査実施児童の割合	○血液検査結果有所見者率の減少 H29年度 21.5% ↓ H35年度 20.0%
自分の健康状態を知ることができる	②	★ 特定健康診査	生活習慣病早期発見、健康意識の向上	40歳以上の被保険者	6月から10月 業務委託	○特定健診受診率 (47.1% : H28値) H30 50%、H31 52%、 H32 54%、H33 56% H34 58%、H35 60% ○新規加入者に随時受診券を送付。(約600通) ○新規介入送付者の受診率(30%) ○他健診結果把握数(依頼対象者の6割以上)	○メタボ該当者率の減少 H28年度 19.0%(現状値) ↓毎年0.3%減 H29年度 18.7%、H30年度 18.4% H31年度 18.1%、H32年度 17.8% H33年度 17.5%、H34年度 17.2% H35年度 16.9% ○健診結果有所見(血糖・血圧・脂質)の重複割合の減少 H28年度 6.5%(現状値) ↓毎年0.2%減 H29年度 6.3%、H30年度 6.1% H31年度 5.9%、H32年度 5.7% H33年度 5.5%、H34年度 5.3% H35年度 5.1% ○健診結果有所見割合の減少 <H28 40代(現状値)> TG 23.5% HDL-C 7.8% LDL-C 44.1% HbA1c 27.7% 収縮期血圧 25.4% 拡張期血圧 16.7% <H28 50代(現状値)> TG 29.9% HDL-C 7.0% LDL-C 56.2% HbA1c 40.3% 収縮期血圧 35.4% 拡張期血圧 22.0% ↓ 前年度の結果を改善する結果 (毎年評価)
自分の健康状態を知ることができる	② ③	★ 瀬戸市国保生活習慣病予防健康診査 (短期人間ドック)	30歳代の被保険者の健康意識向上と生活習慣病の早期発見	30歳代の被保険者	6月から10月 (一部を除く) 業務委託	○基本健康診査受診率(10.9% : H29値) 前年度+1%	○健診結果有所見者率の減少 H29年度 33.1%(現状値) ↓毎年0.5%減 H30年度 32.6%、H31年度 32.1% H32年度 31.6%、H33年度 31.1% H34年度 30.6%、H35年度 30.1%

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点	
						アウトプット	アウトカム
						目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値
自分の健康状態を知ることができる	②	★ 特定健康診査受診率向上対策(勸奨事業)	特定健診受診率向上、未受診理由の把握、健診結果提供依頼	①受診率の低い 40~50 歳代 ②健診初期・中間期に受診結果未着者 ③過去2年間の他健診受診結果提供者	・対象に合わせた内容の勸奨ハガキの送付 ・他健診受診者へ結果提供依頼通知の送付	○勸奨ハガキの送付 ① 2,000 通 ② 22,000 通 ○他健診受診者へ結果提供依頼通知の送付 ③ 100 通	○40~50 歳代の受診率の向上 H28 年度 40 代 24.6% (現状値) ↓ 前年度+1% (毎年評価) H28 年度 50 代 33.7% (現状値) ↓ 前年度+1% (毎年評価) ○特定健診受診率の向上 H28 年度 47.1% (現状値) ↓ H30 年度 50%、H31 年度 52%、 H32 年度 54%、H33 年度 56% H34 年度 58%、H35 年度 60%
自分の健康状態を知ることができる	②	★ 生活習慣病予防健康診査(短期人間ドック)受診率向上対策	30 歳代の被保険者の健康意識向上と生活習慣病の早期発見	30 歳代の被保険者	・健診中間期において受診勸奨ハガキの送付	○新規受診者割合の増加(44.5% : H28 値) ○受診勸奨ハガキの送付	○基本健康診査受診率の向上 H29 年度 10.9% (現状値) ↓毎年1%増 H30 年度 11.9%、H31 年度 12.9% H32 年度 13.9%、H33 年度 14.9% H34 年度 15.9%、H35 年度 16.9%
自分の健康状態を知ることができる	②	歯科事業 ①歯科節目健康診査 ②歯周病予防健康診査 ③二十歳の歯科健診	歯科疾患を早期発見し、適切な治療と予防により歯の喪失を防ぐ。	①30,35,40,45,50,55,60,65,70 歳の市民 ②20 歳以上の市民 ③20 歳になる市民	①6月から12月 業務委託 ②2歳歯科健診と同時実施(24回/年) ③受診券発行時から2月末まで 業務委託	○受診者数 ①750人 ②100人 ③100人 ○定期的に歯科健診を受ける市民が40%以上	○う蝕者の減少 H29 年度 34.6% (現状値) ↓ 現状値よりも改善した結果(H35 年度)
自分の健康状態を知ることができる	② ③	★ 女性の健康診査	疾病の早期発見、適切な治療につなげる。	職域等で健康診査を受診する機会のない30歳代の女性、かつ瀬戸市国民健康保険加入者でない者	業務委託	○受診率 10%以上	○受診者の健康意識の向上 <女性の健診時のアンケート調査> ○健診結果有所見者率の減少 H29 年度 47.4% (現状値) →前年度の結果を改善する結果(毎年評価)

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の5つの柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点		
						アウトプット	アウトカム	
						目的・目標が達成できる、または得たい成果等が得られる指標	目標値	
自分の健康状態を知ることができる	②	★がん検診	がん検診受診率向上対策	がんを早期発見し、適切な治療によりがんの死亡を減少させる。	市民(該当市民)	<ul style="list-style-type: none"> ・がんに関する広報記事を掲載 ・検診アンケートの実施 ・精密検査未受診者への受診勧奨通知の送付 	<ul style="list-style-type: none"> ○掲載回数、内容 各年3回 ○受診者数 ○受診率 ○各種がん検診受診率向上 ○送付者数 	各種がん検診ごとに設定
			がん検診精度管理		がん検診事業評価検討委員	・がん検診事業評価検討委員会を開催	○会議実施 年1回開催	○事業評価における主要指標を許容値内(毎年評価)
			肺がん検診		40歳以上の市民	6月から10月 業務委託	○受診率50%以上 ○精検受診率90%以上	OEBSMR(標準化死亡比) 男109.7、女101.6(H23-27) ↓ 男女100未満(H35年度直近値)
			胃がん検診		40歳以上の市民	6月から10月 業務委託	○受診率40%以上 ○精検受診率90%以上	OEBSMR(標準化死亡比) 男92.7、女94.3(H23-27) ↓ 男92.7未満、女94.3未満(H35年度直近値)
			大腸がん検診		40歳以上の市民	6月から10月 業務委託	○受診率50%以上 ○精検受診率90%以上	OEBSMR(標準化死亡比) 男97.8、女102.4(H23-27) ↓ 男97.8未満、女100未満(H35年度直近値)
			子宮頸がん検診		20歳以上の女性 (2年に1回) ただし 40~59歳(毎年)	6月から10月 業務委託	○受診率50%以上 ○精検受診率90%以上	OEBSMR(標準化死亡比) 129.8(H23-27) ↓ 100未満(H35年度直近値)
			乳がん検診◎		40歳以上の女性 (2年に1回)	6月から10月 業務委託	○受診率50%以上 ○精検受診率90%以上	OEBSMR(標準化死亡比) ※98.7(H22-26) ↓ 98.7未満(H35年度直近値)
			前立腺がん検診		50歳以上の男性 (3年に1回)	6月から10月 業務委託	○受診率50%以上 ○精検受診率90%以上	OEBSMR(標準化死亡比)100未満 87.0(H23-27) ↓ 87.0未満(H35年度直近値)

※乳房の悪性新生物のEBSMRは、H23-27の値が重みが推定不能のため算出不能であったため、H22-26の値を使用した。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの 柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点	
						アウトプット	アウトカム
						目的・目標が達成できる、または得たい成果 等が得られる指標	目標値
自分の健康状態を知ることができる	③	訪問指導	家庭訪問により、生活習慣病予防に関する保健指導を行い、健康の保持増進を図る。	訪問指導が必要と思われる市民(特定保健指導未利用者、個別指導者、被災者、じん肺検診未受診者等)	訪問指導が必要と思われる市民(特定保健指導未利用者、個別指導者、被災者、じん肺検診未受診者等)への訪問実施	○訪問件数 200件/年以上	○保健指導による肯定的な反応 ○セルフコントロール 第2次いきいき瀬戸21計画 (11)「自分の適正体重を認識し、体重コントロールしている」と回答する市民の増加 H29年度中間評価 54.2% ↓ 現状値より増加(H34年度最終評価)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★ 減塩プロジェクト 減塩のための栄養指導教室	対象者が生活習慣を振り返り行動目標を設定及び実践し、支援終了後もその生活が継続できること。	基準該当者 収縮期血圧 130mmHg以上かつ医師の判断で「高血圧」というコメントが存在する方	・減塩個別教室(栄養指導) 全6回実施	○教室参加率 ○個別指導実施率 95%	○塩分味覚測定及び汁物塩分測定での味覚の変化(毎年評価) ○減塩に関する意欲調査(毎年評価)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★☆ 重症化リスクの原因調査	市民の食事調査から疾病の重症化リスクの原因を追究し、疾病予防に役立てる。	市民	教室参加者、訪問対象者等に対し BDHQ(簡易型自記式食事歴法質問票)を行い、結果に基づく保健指導を実施	○実施件数 100件/年以上 ○調査結果の分析	○実施者の健診結果の改善(毎年評価) ○調査結果の分析による原因の解明と予防対策立案(H35年度)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★ 特定保健指導 動機づけ支援	対象者が生活習慣を振り返り行動目標を設定及び実践し、支援終了後もその生活が継続できること	基準該当者	・業務委託 ・結果未着者について医療機関へ勧奨 ・説明会等で依頼	○利用率 H30 50%、H31 52% H32 54%、H33 56% H34 58%、H35 60% ○終了率 前年度+5%	○特定保健指導該当者の減少率の向上 H28年度 19.5%(現状値) ↓ 前年度の結果を改善する結果(毎年評価) ○特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率の向上 H28年度 21.9%(現状値) ↓ 前年度の結果を改善する結果(毎年評価)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★ 特定保健指導 積極的支援	対象者が生活習慣を振り返り行動目標を設定及び実践し、支援終了後もその生活が継続できること	基準該当者	・健康課と委託業者により実施9回の教室で500P以上のプログラム	○利用率 H30 50%、H31 52% H32 54%、H33 56% H34 58%、H35 60% ○終了率 前年度+5% ○翌年以降の健診結果の変化 ○生活、意欲等の質的变化	○特定保健指導該当者の減少率の向上 H28年度 19.5%(現状値) ↓ 前年度の結果を改善する結果(毎年評価) ○特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率の向上 H28年度 21.9%(現状値) ↓ 前年度の結果を改善する結果(毎年評価)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★ 重症化予防事業 (早期医療受診 勧奨事業)		特定健診の結果、血圧・血糖・脂質等について医療受診勧奨値を超えているが未受診の者	・早期医療勧奨通知の送付 ・前年度送付者の受診結果確認	○対象者抽出及び通知(1回/年) ○通知後の医療受診率 30%以上	○通知対象者の減少

※特定健康診査受診率、特定保健指導利用率については、瀬戸市国民健康保険特定健康診査等実施計画における目標値とした。

市民(被保険者)のあるべき姿 (3つの目標)	保健事業の 5つの 柱	事業名	目的	対象者	実施計画	評価の視点	
						アウトプット	アウトカム
						目的・目標が達成できる、または得たい成果 等が得られる指標	目標値
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★ 重症化予防事業 (早期介入保健指導)		<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防健康診査受診者のうち基本健康診査で要観察以上の者 特定健康診査及び生活習慣病予防健康診査の結果で保健指導該当者に血糖と血圧と脂質のうち2項目以上該当かつ運動習慣のない者 	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導パンフレットの送付 健康教室の開催年12回 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防健康診査受診者のうち基本健康診査で要観察以上の者に指導パンフレット送付。 教室参加率20%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 教室参加者の翌年度の健診結果維持・改善率80%以上(血糖、血圧、脂質)(毎年評価) 教室参加者の翌年度の生活習慣等の質的变化率80%以上(毎年評価)
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★☆ 糖尿病性腎症重症化予防事業 (受診勧奨事業)	瀬戸旭医師会と連携し、糖尿病の重症度や医療機関の受診状況等に応じて、適切な情報提供、受診勧奨、保健指導を行うことにより、生活習慣の改善や医療機関の治療に結びつけ、糖尿病による重症化のリスクの高い者に対して腎不全、人工透析への移行を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 当該年度健診で血糖・尿蛋白が基準値以上+過去糖尿病治療なし+糖尿病治療中でない 当該年度健診で血糖が基準値以上+過去糖尿病治療あり+当該年度糖尿病治療なし 当該年度健診で血糖が基準値以上+過去健診でHbA1cが基準値以上+当該年度糖尿病治療なし 	<ul style="list-style-type: none"> 健康課と協働で対象者を訪問し受診勧奨を実施 医療機関との連携により、受診結果を把握 	<ul style="list-style-type: none"> 抽出対象者数 受診勧奨実施数 勧奨による受診率30%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 翌年度の対象者数の減少(毎年評価) 透析新規移行者の減少
疾病発症・重症化予防のための行動ができる	④	★☆ 糖尿病性腎症重症化予防事業 (保健指導事業)	瀬戸旭医師会と連携し、糖尿病の重症度や医療機関の受診状況等に応じて、適切な情報提供、受診勧奨、保健指導を行うことにより、生活習慣の改善や医療機関の治療に結びつけ、糖尿病による重症化のリスクの高い者に対して腎不全、人工透析への移行を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 国保資格を有し、40歳以上75歳未満で、病期が第2期～第3期に該当する者 	<ul style="list-style-type: none"> 健康課と協働で医療機関から提供された対象者の保健指導を実施(6か月間) 医療機関との連携により、対象者の情報交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者数 保健指導実施数 	<ul style="list-style-type: none"> 検査結果の維持・改善(血圧、HbA1c、脂質、体重、尿蛋白、クレアチニン、eGFR)(毎年評価) 透析新規移行者の減少
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	⑤	ジェネリック医薬品知識普及、差額通知	年々増加する保険給付費対策として先発医薬品に比べ低廉な価格ながら同等な効き目が期待できるジェネリック医薬品の啓発を行い、医療費の適正化を図る。	被保険者	<ul style="list-style-type: none"> 保険証更新・交付時にジェネリック医薬品希望シール配布 差額通知年2回送付 	<ul style="list-style-type: none"> シール発行数 切り替え人数割合 効果額 軽減効果分析 	<ul style="list-style-type: none"> 差額通知の切り替え人数割合の20%以上の増加(毎年評価) 効果額50万円以上(毎年評価)
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	⑤	医療費通知	保険料を有効に使うためひとりひとりが適正な保険診療を受けるためのものとして、総医療費や受診内容を被保険者に正しく知らせる。	被保険者	<ul style="list-style-type: none"> 医療費通知を年6回奇数月に発送 	<ul style="list-style-type: none"> 発送人数 年6回通知 問い合わせ件数 	
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	⑤	重複多受診者保健指導		重複多受診者のうち、同薬剤重複処方者	<ul style="list-style-type: none"> 重複多受診者への通知および保健指導 	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導実施率 指導後の診療状況の変化 保健指導実施率100% 	
健康や社会保障制度に関心を持つことができる	⑤	★ 健康保険制度・適正受診の周知		市職員・市民に対し、国保窓口・あらゆる機会において、制度の周知をはかる	<ul style="list-style-type: none"> 国保窓口等においてパンフレット・啓発グッズの配布 イベント、健康教育時にミニ講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等配布数1500部以上 問い合わせ件数 講話実施件数6件以上 理解度調査 	